

檜原村小中一貫教育 Q&A



Q1 第二期計画とはなんですか。

檜原村の一貫教育について5年ごとに大きく見直しをしています。27年度に第一期計画が終わり、28年度～32年度までの計画を新たに示したものが第二期計画になります。

Q2 第一期計画ではどんなことをしていたのですか。

小学校と中学校の教員が授業方法について協議したり、子供の情報共有を行ったりすることで檜原の子供たちの学力向上、健全育成、心の育成を進めてきました。



中学生による小学生への読み聞かせ



小中教員による学園全体会

Q3 第一期計画とのちがいはなんですか。

第一期計画では、学園歌・学園旗の作成や指導交流の方法の検討から導入まで進めてきました。

第二期計画では、第一期計画で行ってきたことをもとに、指導内容や行事等について、より一層中身の充実を図っていきます。

Q4 地域でできることはありますか。

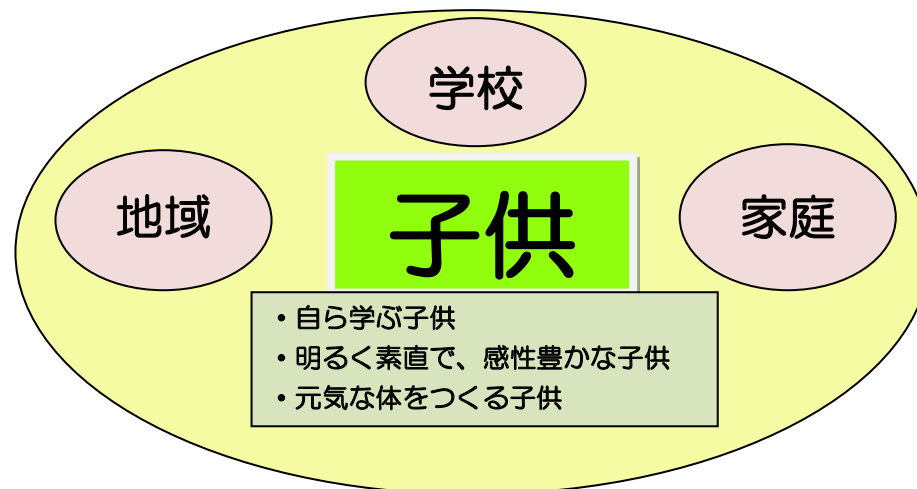
檜原村の良さ「みんなで育てる」意識をもち、日頃から学校行事への参加や、地域での檜原の子供たちの登下校の見守り等の御協力をお願いしたいと思います。

檜原村の一貫教育



檜原学園

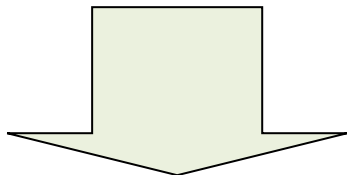
子供は檜原の宝



檜原村教育委員会

二期に向けて一層進めていくこと

- * 9年間を見通した教育課程の充実
- * 学園の協働体制の構築
- * 小学校から中学校へのスムーズな授業形態への対応
- * 柔軟な人間関係づくり
- * 檜原学園の特色あるカリキュラム開発
- * 村教育委員会と学園とのさらなる連携
- * 家庭・学園・地域・行政が一体となった教育の創造



百人一首による交流学習

小中一貫教育で期待される効果

1、子供たち一人一人の個性を生かす『生きる力』を育成できます。

少子化が進んでいる檜原村ですが、その反面、先生方は子供たち一人一人に見合った教育支援をきめ細かく行うことができます。義務教育9年間を通して、先生方がこの支援を引き継いでいけば子供たち一人一人の個性を生かす『生きる力』を育成することができます。

2、村ぐるみで子供たち一人一人を見守ることができます。

従来、小学校と中学校は各自で関係機関と連携していましたが、それを一貫して檜原学園と関係機関の連携にすることで、子供たちの育成についての学校と関係機関の共通意識がより一層拡大・強化されます。多方面での連携体制作りにつながり、村ぐるみで子供たち一人一人を見守ることができます。

3、檜原村を愛し誇りに思う子供たちの育成をより一層進めることができます。

檜原村の小中一貫教育は、檜原村の教育課題に対応しながら行われます。したがって、檜原村の小中一貫教育の実施は、檜原村という地域に根ざした教育の実施でもあります。この地域に根差した教育を義務教育9年間を通して行うことで、檜原村を愛し誇りに思う子供たちの育成をより一層進めることができます。

小中一貫で行うこと

① 連続性のある指導を行います。

- 一期・・・基礎・基本の習熟を図る反復期
- 二期・・・思考力・判断力・表現力を身に付ける活用期
- 三期・・・個性・能力を伸ばす伸長期

< 三期区分図 >

期	一期 (1~4学年)				二期 (5~7学年)			三期 (8・9学年)	
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
学習段階	繰り返して習熟を図る				思考力・判断力・表現力を身に付ける			個性・能力を伸ばす	
指導形態	学級担任制				専科による指導交流 教科担任制			教科担任制	

② 小・中学校の教育活動を充実します。

- ・異学年がふれあいをもって関わる機会を増やすため、運動会を平成28年度から合同で行っています。マラソン大会など他の行事についても合同の取組をしています。
- ・第一期計画で行ってきた指導交流を充実させ、基礎学力の定着を図ります。
- ・特別の教科道徳や英語の充実にも、積極的に取り組んでいます。



小中マラソン大会

③ 関係機関との連携を強化します。

地域や学校、子供家庭支援センター等の関係諸機関との連携を深め、児童・生徒の健全育成について協働し、進めていきます。